

教科別授業改善推進プラン（家庭科）

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

（1）成果

- ・児童は、家庭科の学習に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。
- ・裁縫の活動では、友達と教え合う場を設けたことによって、教える児童も教えられる児童も、理解を深めることができた。作業が分からないときに、すぐに解決することができた。

（2）課題

- ・裁縫や調理の基礎・基本をまだ十分に身に付いていない児童がいる。
- ・学習で身に付けたことを、実生活で実践する機会が少ない。

2 重点課題

5 年	・裁縫の作品制作にかかる時間の個人差が大きいこと。 ・コロナ禍で十分な時間を確保して調理実習ができないこと。
6 年	・コロナ禍で十分な時間を確保して調理実習ができないこと。 ・コロナ禍のため、複数人で料理を作ったり食べたりする機会が減り、団欒を楽しむ学習ができないこと。 ・裁縫の基本的な技能が身に付いていない児童がいること。

3 授業改善策

5 年	・裁縫の作品制作の準備段階で、手順を写真や絵などで確認したり、完成の見本を見せたりして、イメージをもつことができるようにする。 ・個人指導、教え合いなどの時間の確保や方法を工夫する。 ・調理実習の回数を増やすことは難しいが、試食をしない等の工夫を行い、調理器具の正しい取り扱い方を身に付ける機会を増やす。 ・家庭の理解を得ながら、学習したことを実生活でも実践する機会を増やす。（家庭学習）
6 年	・コロナ禍に配慮した教え合いの場を設定し、作業方法が分からないときにすぐに聞くことができるようにする。 ・調理実習の回数を増やすことは難しいが、試食をしないなどの工夫を行い、調理器具の正しい取り扱い方を身に付ける機会を増やす。 ・家庭の理解を得ながら、可能な範囲で、家庭で食事を作ったり団欒を楽しんだりする機会を増やしてもらうよう協力を呼びかける。（家庭学習）